

2024年3月26日

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

アウディ、Formula 1 参入準備を加速、コミットメント領域を拡大

- Volkswagen AG および AUDI AG の監査役会、ザウバーグループの完全買収に合意
- オリバー ホフマン、ザウバーグループの取締役会会長に就任。Formula 1 参戦の重責を引き継ぐ
- アンドレアス ザイドルが Audi F1 Team CEO に就任。アウディ レーシングチームの代表となる
- Audi CEO のゲルノート デルナーが AUDI AG 技術開発部門の総括責任者を兼任

(ドイツ本国発表資料) 2024年3月8日、インゴルシュタット：AUDI AG 最高経営責任者 (CEO) ゲルノート デルナー (Gernot Döllner) は、Audi Agenda と呼ばれる戦略で、今後焦点をあてていくポイントを明らかにしました。製品およびテクノロジー、そしてグローバルなステージにおけるアウディブランドの、より力強いポジショニングの構築に注力します。このような背景において、AUDI AG および Volkswagen AG の監査役会のメンバーは、Formula 1 への取り組みを強化し、2026年シーズンの開幕に向けた準備を加速させることを決定しました。アウディは、ザウバーグループの株式を100%取得する予定です。オリバー ホフマン (Oliver Hoffmann) は、ゼネラル レプレゼンタティブ (総代表) として、Audi Formula 1 プログラム全体の指揮を執る予定です。アンドレアス ザイドル (Andreas Seidl) は、Audi F1 Team 最高経営責任者 (CEO) として、Audi F1 Team の管理だけでなく、このF1プロジェクトの遂行にも責任を負います。

現在、AUDI AG 技術開発部門の統括責任者であるオリバー ホフマンは、取締役会によってゼネラル レプレゼンタティブに任命され、AUDI AG における Formula 1 プロジェクトの遂行、および世界最高峰のモータースポーツ参戦に関する責任を担うこととなります。Formula 1 プログラムの3つの柱、すなわち、著名なスイスのレーシングチームであるザウバーへの出資、ノイブルクの Audi Formula Racing GmbH におけるパワーユニットの開発、そしてAUDI AG によるプログラムの戦略的実行と活性化、これらすべてをこの新設されたポジションが一元管理することとなります。Formula 1 プログラムの立ち上げの成功に加えて、この部門の統合は、グローバルなステージでアウディブランドを強化し、モータースポーツと市販モデルの緊密な連携を確保することも目的としています。

この目的のため、アウディは Sauber Holding AG の株式を100%取得する予定です。現在の大株主である Islero Investments AG とは既に合意に達しており、同社はこの変更を全面的に支持しています。オリバー ホフマンは、Audi Formula Racing GmbH の株主委員会の委員長に加えて、ザウバーの取締役会長にも就任します。

これに伴い、オリバー ホフマンは AUDI AG 取締役会のメンバーを辞任します。Audi CEO ゲルノート デルナーは、現在の役職に加えて、技術開発部門の統括責任者も兼任します。デルナーは、技術開発部門の変革を継続します。この変革では、開発期間の短縮に加えて、Audi Agenda で定められた製品およびテクノロジーの優先順位付けを行うために、より効率的な組織構造と明確な責任範囲の構築に、主な焦点が当てられています。

2026年開催の FIA Formula 1 世界選手権参戦に向けた準備として、アウディはもう一つ別の重要な役割も担います。アンドレアス ザイドルは Audi F1 Team の CEO として、Audi F1 Team と Audi F1 プロジェクトの遂行に責任を担い、この先 Audi Formula 1 Team の象徴的な存在になります。

AUDI AG 監査役会会長 マンフレート デス (Manfred Döss) は、次のように述べています。「Formula 1 への参入は、アウディのモータースポーツにおける成功の歴史における頂点となるだけでなく、モータースポーツにおける大きな挑戦でもあり、財務面における目標と同じくらい重要です。オリバー ホフマンの責任範囲を集中させ、ザウバーグループを完全に引き継ぐことで、私たちは2026年シーズンに向けた準備を加速させています」。

AUDI AG 監査役会副会長 兼 労使協議会議長 ヨルク シュラグバウアー (Jörg Schlagbauer) は、次のように述べています。「アウディは、技術的な柔軟性を維持し、将来に対応できるよう機動力を保たなければなりません。そのためには、明確な道筋が必要です。“Vorsprung durch Technik” (技術による先進) は、引き続き、私たちのスローガンとしてあり、現在でも経営陣の最優先事項となっています。そのため、私はゲルノート デルナーとさらに緊密に協力できることを、今から楽しみにしています。また、アウディ従業員全員が、オリバー ホフマンのこれまでの功績に感謝の意を表明しています。私たちは、ホフマンとアウディが、モータースポーツの最高峰クラスで成功することを祈っています」。

AUDI AG 取締役会会長 ゲルノート デルナー：「技術開発担当取締役として貢献してきた、オリバー ホフマンの献身的な努力に感謝します。近年、ホフマンは、アウディ製品のDNA にさらに磨きをかけてきました。私たちは Audi Q6 e-tron の発売と共に、このDNA を徐々に市場に浸透させていきます。特に、私たちにとって重要な PPE および PPC をベースにした市販モデルの開発は、彼の功績です」。

ホフマンはモータースポーツにおける豊富な経験を持っているため、適切なタイミングで適切な人材が Audi Formula 1 プログラム全体の統括責任者に任命されたこととなります。彼は技術開発担当取締役として、また Audi Sport 統括責任者として、アウディのモータースポーツ活動で大きな成果を上げてきました。これらには、カスタマーレーシング、ドイツツーリングカー選手権 (DTM)、電動マシンによる Formula E 世界選手権での国際的な勝利とタイトルの獲得が含まれます。今年アウディは、革新的な電動ドライブトレインを搭載したマシンで、有名かつ過酷なダカールラリーで優勝した最初のメーカーとなりました。そして今、2026 年の Formula 1 参戦に向けた準備が本格化しています。

オリバー ホフマン：「近年の素晴らしい実績に対し、技術開発チーム全員に感謝したいと思います。また、私たちの集中的な取り組みから誕生し、今後数か月以内に発売される予定の、優れた製品を誇りに思います。モータースポーツ、特に Formula 1 は、私が大きな情熱を注いでいる分野です。複数の責務を負い、ザウバーグループの株式を 100% 引き継ぐことになり、2026 年の Formula 1 参戦に向けた準備を、さらに加速できると確信しています。Audi F1 Team の CEO に就任したアンドレアス ザイドルと共に、仕事ができることを嬉しく思います。彼はまさに、私たちの意欲的な計画に適任です。メーカーおよび Formula 1 チームでの、指導的役割を通じて得た幅広い経験がある彼は、アウディの Formula 1 プロジェクトに多大な貢献をしてくれるでしょう」。

ドイツのPASSAUで生まれたアンドレアス ザイドルは、BMW の Formula 1 プログラムでモータースポーツのキャリアをスタートして、在職中にレースオペレーションのディレクターも務めました。チーム代表として、ザイドルは複数の世界タイトルと、ル・マン 24 時間レースで 3 回の総合優勝を経験しています。ザイドルは、2019 年から 2022 年までマクラーレン F1 チームの代表を務め、2023 年にザウバーグループの CEO に就任しました。

アンドレアス ザイドル：「私のことを信頼してくれたゲルノート デルナーとオリバー ホフマンに感謝するとともに、Audi F1 Team の CEO として、アウディを Formula 1 参戦へと導き、モチベーションの高いチームを組織することを、今から楽しみにしています。私たちは、Audi Sport の拠点があるノイブルクだけでなく、ザウバーの本拠地ヒンヴィールでも、競争力を高めるための明確なロードマップを持ち、意欲的な目標があります。現在、これらの目標の実現に向けて進行中で、AUDI AG によるザウバーの完全買収によって、さらに加速されるでしょう」。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、12カ国21か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界100以上の市場に存在しています。2022年、アウディ グループは、161万台のアウディ、15,174台のベントレー、9,233台のランボルギーニ、および61,562台のドゥカティを販売しました。2022会計年度において、アウディ グループは総収益618億ユーロ、営業利益76億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは2022年に87,000人以上が働き、そのうち54,000人以上がドイツのAUDI AGで働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
